

語り手 / 聞き手 / 話



昭和12年(1937年)岩手県遠野市宮守町に生まれる。祖母から民話を聞いて育つ。昭和61年、「みやぎ民話の会」会員の探訪を受けたことを契機に、記憶の底に沈んでいた昔語りの数々が一気に目覚めてよみがえる。重厚な遠野の語りである。その後、民話を語る活動を始め、新しい語り手養成に心血を注いでいる。

遠野市宮守町の佐々木健の語り 1

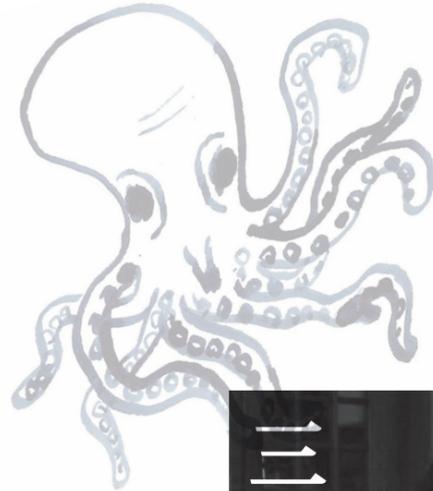
- ▼上映日時
3月1日(土) 9:30- (約155分)
- ▼民話一覧
- 1_ 瓜こ姫こ
- 2_ うばすて山(1) 鬼の小槌こづち
- 3_ 腕っこや、腕っこや、どごさいる
- 4_ とんびとからす
- 5_ みそさざいは一番強い鳥
- 6_ つばめっこの話
- 7_ せきれんこの話
- 8_ めんどりっこ
- 9_ 山鳥の恩返し
- 10_ ほととぎすとかっこう
- 11_ 楮こうぞの木とすずめ
- 12_ なみなみの尻ぴり爺
- 13_ きこりの話
- 14_ ひーこめっこ



大正15年(1926年)宮城県登米市迫町に生まれる。母から多くの民話を聞いて成長する。祖母、母、そして、正子さんへと「母の昔話」は語り継がれた。正さんがわが子のために書き綴った民話が公民館の広報に載り、冊子として刊行される。よくひびく声で語られる民話は聞かざるを魅了する。小中学校・施設などでいまも語り続けている。

登米市迫町の伊藤正子の語り 1

- ▼上映日時
3月1日(土) 13:00- (約146分)
- ▼民話一覧
- 1_ 尻おんつたれ嫁ご
- 2_ キジも鳴かずば
- 3_ とごろふう
- 4_ さいしんへら
- 5_ ばばあ、ばばあ、すりつぐぞ
- 6_ お方の敵討ちかたかたきう
- 7_ 歌うしゃれこうべ
- 8_ こんな晩ばん
- 9_ どこで年取っぺな
- 10_ 大歳の火
- 11_ 腕うでばばと小僧こぞうと和尚おしょうさま
- 12_ 踊る大黒さま
- 13_ 栗くりこ姫ひめこ
- 14_ ぶっか欠けおわん腕うでこと五郎
- 15_ とつき親父のお弥勒詣りおやず みろくめえ
- 16_ 貧乏びんぼの神



昭和6年(1931年)宮城県栗原市一迫町に生まれる。父は、住み込みで働く若者たちに、毎夜、民話を語って楽しませ、「人生」を教えたという。玲子さんはそれを傍らで聞いて育つ。父から受け継いだ民話を、情感とユーモアを交えた語り口で、小中学校をはじめ多くの場で語ってきた。平成26年(2014年)逝去。

栗原市一迫町の佐藤玲子の語り 1

- ▼上映日時
3月1日(土) 15:45- (約100分)
- ▼民話一覧
- 1_ 飯めし食かねえ嫁よめご
- 2_ コイの嫁よめご
- 3_ 歌うしゃれこうべ
- 4_ 宝たから手て拭ぬぐい
- 5_ お歳としとく徳じん神としくぼさまの歳とし配くぼ
- 6_ 雪ゆき童わらし
- 7_ 片かたかばねの女むすめの子
- 8_ 川か流ながれ童わらし
- 9_ 脂あぶらとり
- 10_ ふしぎなカナヘビ
- 11_ どぶろくかぶった婿むこどの



昭和9年(1934年)岐阜県高山市に生まれる。東京女子大学日本文学科卒業。その後、宮城県仙台市に在住し、宮城県を中心に東北地方の民話を訪ね、聞き記録をする。1975年に「みやぎ民話の会」を設立し現在は同会顧問。2011年よりせんだいメディアテークと協働で民話語りの声や姿を記録し、土地の共有財産として広く公開・保存する「民話 声の図書室」プロジェクトをおこなっている。

小野和子・みやぎ民話の会(聞き手)